

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市民生活部	
	課名	防災交通課	
	係名	消防防災係	
	記入者		電話(内線) 281

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称		防火水槽新設事業			(3) 事業の 優先度		A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体			市			
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)			
② 施策コード	24404		(総合計画掲載ページ 77 ページ)				会計区分	一般会計			
基本目標(政策)	2 安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						財源区分	市単独			
基本施策	4 安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)						予算科目	款 9		項 1	目 3
施策	消防・救急体制の強化						予算書上の	防火水槽新設事業費			
施策内容	消防水利の設置						事業名称	(予算書 152 ページに掲載)			
(5) 事業期間					(8) 事務分類			自治事務			
	開始	平成	27	年	4	月から					
	終了			年		月まで(	力年)				
							根拠法令	消防法			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	結城市民	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)	市内全域における消火作業に対応するため、耐震性貯水槽を新設し、充足率の向上と適切な配置に努力する
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	消防水利が不十分な地区への耐震性貯水槽設置	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	火災時に消火栓を使用すると濁りが発生し、二次災害となる恐れがあるため、消防水利としての貯水槽の設置を進めている
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	地域住民からの設置要望に対応していく		

3. 事業コスト

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
● 予算内訳		実績額(千円)	当初予算額(千円)	計画額・見込額(千円)			
事業内容		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
(1) 事務事業費	耐震性貯水槽(40t 小塙)		8,598				
	耐震性貯水槽(40t 逆井)						
	耐震性貯水槽(40t 四ツ京)						
	合計		8,598				
財源	国庫支出金(千円)		1,787				
	県支出金(千円)						
	地方債(千円)		6,100				
	その他特定財源(千円)						
	一般財源(千円)		711				
	合計(千円)		8,598				
補助・起債制度名			防災基盤整備				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）								
指標の名称			単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	耐震性防火水槽（40t級）の設置	目標値	基		1	1	1	
		実績（見込）値			1			
		目標値						
		実績（見込）値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	公設基数	目標値	基		269	270	271	
		実績（見込）値		268	269	270	271	
		達成率		%	%			
		目標値						
		実績（見込）値						
		達成率	%	%				
5. 事業評価								
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。								
(2) 項目別評価								
評価項目・客観的評価				理由				
必要性	事業の必要性							
妥当性	実施主体の妥当性							
	手段の妥当性							
効率性	コスト効率 人員効率							
公平性	受益者の偏り							
有効性	成果の向上							
進捗度	事業の進捗							
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。								
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？								
6. 事業の方向性判断								
評価主体		27年度以降の事業の方向性		評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		予定どおり要求		注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）		消防防災の観点から、消防水利の確保が重要である。 消防水利が不十分な地域へ防火水槽を新設し、消防水利の充足率の向上と適切な配置に努めていく。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う				上記評価のとおり。 事業の方向性については、課内で再検討し、意思統一を図りたい。 新規継続区分を変更 新規⇒継続				